



【TOPICS】

- 2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集
  - ・ 2012 実践教育研究発表会開催校挨拶・・・1
  - ・ 大会概要と日程・・・2
  - ・ 特別講演・・・4
  - ・ 各系企画・・・5
  - ・ 開催地紹介・・・10
  - ・ 交通アクセス・・・11
- 実践研北海道支部 2012 年第 1 回発表会 報告・・・・・・・・・・12

【2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集】

2012 実践教育研究発表会開催校挨拶

神奈川県立産業技術短期大学校  
校長 相庭 吉郎



2012 実践教育研究発表会が当校にて開催されますことは、当校にとりまして大きな喜びであり心から歓迎申し上げます。日頃より実践教育に携わっておられる全国の会員の皆様と一堂に会する機会が得られ、互いに日頃の研究成果を発表し議論を尽くして戴く事は誠に意義の深いものが有ります。

神奈川県は地勢的に恵まれ、また高度産業を擁するなど優れた特徴を備えていますが、特に近年、事業所、従業者数及び製品出荷額等が減少し嘗ての勢いを失いつつあるのが現状です。しかし一方で技術力の高い研究所が数多く集積することとなり新産業創出を牽引する環境が醸成されつつあります。またわが国の製造業の勢いが減速基調にあり産業構造も急激に変化しています。このような厳しい内外の環境変化の中にあって未だに製造業はわが国産業全体の牽引力の役割を担っていますし、今後もその先導的役割を果さなければなりません。技術立国を担う製造業の復権に向けて技術と技能を支える実践的な“ものづくり人材”の育成は大きな課題と認識しています。この“ものづくり”“人材育成の根幹をなす実践教育の意義、重要性、役割の大きさはもっと強調され認知されねばなりません。

本発表会において発表される皆様方の研究成果と活発な議論が、これからのわが国の“ものづくり人材”の育成に大きな役割を果していくことを切に期待しています。



神奈川県立産業技術短期大学校

【2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集】

大会概要と日程

# 実践教育研究発表会

## 2012 神奈川大会

協会設立25周年記念

大会テーマ  
次代に継ぐ  
ものづくり・ひとづくり

会期 9.20(木)～9.22(土)  
会場 神奈川県立産業技術短期大学校 東キャンパス  
〒241-0815 神奈川県横浜市旭区中尾2-4-1

ものづくり

じっせんくん

- 一般講演 (機械系、電気・電子、情報系、建築・デザイン系、能力開発分科会)
- ポスターセッション (機械系、電気・電子、情報系、建築・デザイン系)
- 特別講演  
演題 『ものづくり立国』が日本再生の基本  
講師 社団法人 全国技能士会連合会 会長 大関 東支夫氏  
日時 9月21日(金) 15:00～16:30、会場 大教室(本館4F)
- 企業展示  
日時 9月21日(金) 10:00～17:00 会場 本館4F  
9月22日(土) 9:00～12:00
- 全体交流会  
日時 9月21日(金) 18:00～20:00 会場 横浜崎陽軒

主催 (社)実践教育訓練研究協会  
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-18-36-203  
TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652 <http://www.jissen.or.jp>

後援 厚生労働省  
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構  
神奈川県立産業技術短期大学校

【2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集】

2012 実践教育研究発表会 神奈川大会日程表

会場：神奈川県立産業技術短期大学校

大会テーマ：「次代に継ぐ ものづくり・ひとづくり」

|   |  |  |                                      |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 9月20日(木) 受付11:30~本館2階 玄関ロビー   |  |  |                                      |
| 機械系   | 電気・電子・情報系                                      | 建築・デザイン系                                       | 能力開発分科会                              |
| 一般講演<br>13:00~14:00<br>A・B・F会場<br>(大会議室、1401、大教室)                               | 一般講演<br>13:00~14:40<br>C・D会場<br>(1402・1403)    | 建築・デザイン系<br>14:00~17:00<br>企画①<br><br>(先進施設視察) |                                      |
| 一般講演<br>14:20~15:20<br>A・B・F会場<br>(大会議室、1401、大教室)                               | 一般講演<br>15:00~16:40<br>C・D会場<br>(1402・1403)    |  |                                      |
| 一般講演<br>15:40~16:40<br>A・B会場<br>(大会議室、1401)                                     |  |  |                                      |
| 9月21日(金) 9:00~17:00   |  |  |                                      |
| 一般講演<br>9:00~11:00<br>A・B会場<br>(大教室、1401)                                       | 電気・電子・情報系<br>専門企画Ⅰ<br>9:00~10:30<br>C会場(1402)  | 一般講演<br>E会場 (1404)<br>9:00~10:00<br>E会場 (1404) | 企業展示<br>10:00~<br>17:00              |
| 企業展示 11:00~11:20<br>ポスターセッション発表会<br>11:20~11:40 機械系2件                           | 企業展示 10:30~10:50                               | 企業展示<br>10:00~10:20                            |                                      |
| 企業展示<br>11:40~12:20   | 電気・電子・情報系<br>専門企画Ⅱ<br>10:50~12:20<br>C会場(1402) | 一般講演<br>10:20~12:20<br>E会場 (1404)              |                                      |
| ポスターセッション発表会 13:30~13:50 電気系1件、建築系1件  |  | 建築・デザイン系企画②<br>(県立短大 S研究討議)                    |                                      |
| 企業展示 13:50~15:00<br>(展示コーナー)  |  |  |                                      |
| 特別講演「ものづくり立国」が日本再生の基本<br>講演者：(社)全国技能士会連合会 会長 大関 東支夫 氏<br>15:00~16:30 (本館4F 大教室) |  |  |                                      |
| 全体交流会 18:00~20:00 (横浜崎陽軒)   |  |  |                                      |
| 9月22日(土) 9:00~12:20   |  |  |                                      |
| (社)実践教育訓練研究会 総会 9:00~10:00 (本館1F 1104視聴覚教室)                                     |  |  |                                      |
| 機械系 企画<br>特別講演<br>10:15~12:15<br>大会議室   | 一般講演<br>10:00~12:20<br>C・D会場<br>(1402・1403)    | 一般講演<br>10:00~12:00<br>E会場<br>(1404)           | 一般講演<br>10:00~11:20<br>B会場<br>(1401) |
|   |  |  | 企業展示<br>9:00~<br>12:00               |

【2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集】

特別講演

特別企画

記念特別講演 **「ものづくり立国」が日本再生の基本**

講師： 大関 東支夫 氏（(社)全国技能士会連合会 会長）

会員数10万人を誇る全国技能士連合会会長の大関氏は、講演で連日全国を飛び回り、肌で日本のものづくりの置かれた現状を感じ取られています。今日の技能者の現状、技能伝承の重要性、変化する社会ニーズに合わせた就職に結びつく教育訓練の重要性、など多様な話題を通して、ものづくりの視点から、元気のない日本を再生するために大関氏が提唱される効果策について、ご講演いただきます。私達にとって大変興味深い内容です。

日時 平成24年 9月21日（金）  
15:00～16:30

場所 神奈川県立産業技術短期大学校  
本館棟4階 大教室（F会場）

現在の役職

- ・(社)全国技能士会連合会会長
- ・全技連マイスター会会長
- ・東京都技能士会連合会会長
- ・関東信越社会保険医療協議会会長代行
- ・関東信越社会保険医療協議会東京部会会長
- ・東京都私学審議会委員・第一部会長
- ・(公益)暴力団追放運動推進都民センター監事
- ・(株)セノン 監査役（非常勤） 他



(社)全国技能士会連合会会長 大関東支夫氏

講演要旨

戦後、奇跡的な復興を遂げた日本経済。これを基本から支えてきたものは日本の優れた「ものづくり技術」である。

いま、そのものづくりが最大の危機を迎えている。1985年のプラザ合意以降続く円高基調により、多くの生産現場が日本から消えた。高度な部品工場が残されていた東北地方も東日本大震災により壊滅的な打撃をうけ再構築される気配もない。

モノは安ければ良いという価格競争の世界に移った。ものづくりの原点は品質競争。領土も国民の安全も守れなくなった国家。将来展望のない日本。これでよいのか。日本を再生させる奇跡の道はないのか。いまこそ「ものづくり立国」を国策の柱にするときではないか。ものづくりの視点からみなさんと考えてみたい。

【2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集】

各系企画

●機械系

機械系企画

特別講演 「これからの技術者にどのように英語力を付与するか」

講師： Robert JG Healey 氏 小学校英語教師（那覇市教育委員会）

日時 平成 24 年 9 月 22 日（土）  
10:15~12:15

場所 神奈川県立産業技術短期大学校  
本館4階 大会講室



Robert JG Healey 氏

著書 Elementary Communication Techniques in English Speaking cultures

経歴 ラファイエット大学（アメリカ ペンシルバニア州）学士 専攻 生物学

与那原英語学校校長

水戸言語研究所所長

三井石油化学工業（株）（言語文化統括、英語翻訳者）

三井造船（株）（言語文化統括、英語翻訳者）

スワジランド王国科学技術協会 研究員

茨城職業能力開発短期大学校・茨城大学工学部・常盤大学非常勤講師歴任

講演趣旨

卒業生が海外勤務する時代になり、英語力は不可欠になっています。就職先の企業からも、英語力のある学生を希望するとの意見が多く寄せられています。**これからの技術者はせめて自分の業務を英語で話せるような実力を持つべき**ではないでしょうか！ 実践技術者教育として、技術力・人間力教育と合わせ英語力についても責任を持つ教育体制を構築していくことが大切でしょう。これまで多くの大学等で英語教育に携わってこられたヒーリー氏から、日本での英語教育の経験を通して、これからの英語教育のあるべき姿、そしてこれまでの英語教育はどのように改善すべきかについて講演をいただきます。

講演の中からこれからの技術者にどのように英語力を付与すべきかについて、参加者の皆様とともに考えていこうと思います。

●電気・電子・情報系

電気・電子・情報系企画Ⅰ 講演

『プリント配線版の現状と課題』

【講演概要】

設計からプリント配線板実装までの工程に関する変遷と課題を整理し、今後求められる技術とは何かを述べていく。

手設計から CAD へ、図面保管がフィルムからデータ保管へ、印刷から写真法へ、金型から NC 加工へ、ロジックフラックスから OSP へ、手挿入から自動挿入へ、手はんだ付けから自動はんだ付けへ、基板修理から基板交換へと変化しているが、これらの変化がこれからの自然環境を考慮した製品化実現とは必ずしも合致していないのではないのか。

電機業界が置かれた環境は従来のもの作りを継続するだけでは解決できない。

このため、改めて顧客の目線から商品化を行う必要があり、商品化＝低価格化でなく、性能と価格面を顧慮した地域毎の商品化が求められている。

【日 時】

平成 24 年 9 月 21 日 (金) 9:00~10:30

【場 所】

神奈川県立産業技術短期大学校 会場 (1402 教室)

【講師プロフィール】

(株)カヤバオフィス 代表取締役

榎場正男 先生

電気・電子・情報系企画Ⅱ 講演

『省エネルギー時代における照明設計の現状と今後の課題』

【講演概要】

東日本大震災以降、電力不足対策に伴う節電・省エネに対するニーズから、LED照明など新光源への関心度は急激に高まってきた。日本の総電力消費量の16%が照明用に使用されていることから、照明における省電力・省エネルギーの効果は大きい。

LED照明は、1996年に開発され、照明の歴史上、1810年ガス灯、1879年白熱電球（エジソン）、1938年蛍光灯と新しい光源が世に送り出されてきたことに続く、60年に一度の大革命と位置付けられており、各国の企業がビジネスチャンスとばかりに各種製品を次々と売り出している。平成24年7月1日には電気用品安全法施行令が改正され、LED照明などが新たに規制の対象となり、出回る各種製品に対して国が定める技術基準への適合が求められるようになった。

そのような背景・動向を紹介するとともに、LED照明への置き換え以外の照明省エネルギーの手法、今後の照明環境のありかた、照明設計の課題について講演する。

【日 時】

平成24年9月21日（金） 10:50～12:20

【場 所】

神奈川県立産業技術短期大学校 会場（1402教室）

【講師プロフィール】

株式会社きんでん  
技術企画室東京技術企画部  
CSチーム

課長 高松 篤子 先生

- ・平成16年より職業能力総合開発総合大学校 電気システム工学科非常勤講師  
「照明および配線設計」「電気電子製図」を担当
- ・平成22年より高度ポリテクセンターにおいて部外講師として  
能力開発セミナー「電気設備の省エネ設計技術」を担当

●建築・デザイン系

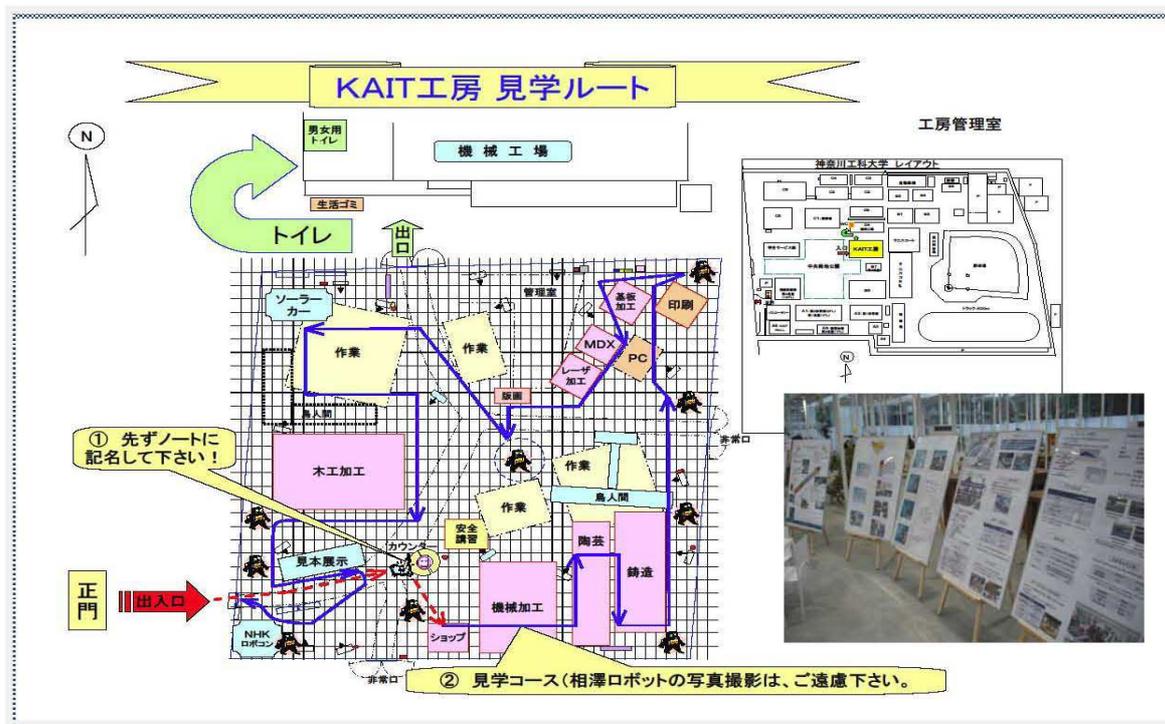
建築・デザイン系企画 I

先進施設視察:『ものづくり支援 KAIT 工房』

■日時: 2012年9月20日(木) 14:00~17:00

■会場: 神奈川工科大学 KAIT 工房 <http://www.kait.jp/> 参照。

小田急線「本厚木」駅下車。厚木バスセンター1-2番線から「神奈川工科大学」行きに乗車。



■企画担当: 星野政博・磯野重浩

■(社)実践教育訓練研究協会/建築・デザイン系専門部会

## 2012 神奈川大会 / 建築・デザイン系専門部会

### 教育訓練セッション発表＋研究討議

#### 『建築システム系カリキュラムの展開と課題』

- 日時：2012年9月21日（金）  
11：20－12：20（質疑応答・意見交換含む）
- 会場：神奈川県立産業短期大学校 E会場 1404
- 主催：（社）実践教育訓練研究協会/建築・デザイン系専門部会
- 趣旨：建築システム系では平成23年度より専門知識・技術の習得や職業意識とコミュニケーション力の醸成を前提としたカリキュラムと併せ、学生のモチベーションの向上、段階的な向上意識の醸成、就職段階での優位性などを考慮した検定試験や資格試験の習得に力を注いでいる。  
本報では現行のカリキュラムの構成とねらい、1年間の試行期間を含む2年間の展開を通しての実績と課題について検討を行い、提示する。

#### ■ コメンテーター

大分県立工科短期大学校 松尾 浩介 氏

- 司会進行： 磯野 重浩氏 ・ 星野 政博氏

- （社）実践教育訓練研究協会／建築・デザイン系専門部会

【2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集】

開催地紹介

2012 実践教育研究発表会神奈川大会に参加される正会員・賛助会員の皆様に神奈川県を簡単にご案内いたします。

「神奈川県」、皆さんご存知かと思いますが、人口は東京都に次いで全国第2位（総人口は904万8千人で、スウェーデンの人口）にほぼ匹敵）、県内総生産は東京、大阪、愛知に次ぐ第4位。政令指定都市は3市（横浜市、川崎市、相模原市）で日本一です。県名の由来は、東海道五十三次の神奈川宿（横浜市神奈川区）および江戸時代の神奈川奉行所（西区紅葉ヶ丘）に由来します。ちなみに神奈川という川は今は道路になっておりません。神奈川県をもっと知りたい方は、「ランキングかながわクイズ」を試してみてください。



神奈川県の地域は、右上図のように6エリアに分かれています。①横浜・川崎エリア②横須賀・三浦エリア③湘南エリア（鎌倉はここ）④県央・相模原エリア⑤県西エリア（箱根はここ）⑥丹沢・大山エリア（神奈川観光情報サイトより）このうち、今回の発表会場がある①の横浜についてご案内いたします。



横浜といえば港、港といえば横浜、とくに山下公園周辺は有名ですが、山下公園といえば氷川丸ですね。2008年にリニューアルされ、横浜港のシンボルです。もちろんもう一つのシンボル、2009年にリニューアルされたマリントワーも忘れずに！こちらのHPを参考に週末をエンジョイされてお帰りください。9/29から開催される横浜トライアスロンのコースを参考に散策してみてもいいかもしれませんか？



また、今回の交流会の会場は崎陽軒 <http://www.kiyoken.com/restaurant/index.html> で開催されますが、ここは「しうまい弁当」で有名ですよ。先日の秘密のケンミンSHOWでも「神奈川県民は、崎陽軒のシウマイが異常に大好き！？」で崎陽軒がでていましたね。  
[http://www.ytv.co.jp/kenmin\\_show/secret/this\\_week/bn1697136.html](http://www.ytv.co.jp/kenmin_show/secret/this_week/bn1697136.html)

神奈川県 <http://www.pref.kanagawa.jp/>

ランキングかながわクイズ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f370099/p412048.html>

氷川丸 <http://www.nyk.com/rekishi/exhibitions/hikawa.htm>

マリンタワー <http://marinetower.jp/>

横浜トライアスロン [http://yokohamatriathlon.jp/wcs/course\\_age.html](http://yokohamatriathlon.jp/wcs/course_age.html)

横浜観光情報 <http://www.welcome.city.yokohama.jp/ja/>

神奈川観光情報サイト <http://www.kanagawa-kankou.or.jp/>

実践教育研究発表会の神奈川県での開催は、1991年、2009年の職業能力開発総合大学校相模原キャンパスに続いて3回目です。その中でも、今回は初めて横浜市にある神奈川県立産業技術短期大学校で開催されますので、神奈川県内の職業能力開発施設を紹介したいと思います。神奈川県では、新しく鶴見に工業技術・建築技術・社会サービスの各分野の訓練を実施する、大規模・総合型の神奈川県立東部総合職業技術校（愛称：かなテクカレッジ東部）を2008年4月に開校しました。来年は県西部にある4高等職業技術校（藤沢、秦野、平塚、小田原）を再編・統合して、秦野に西部総合職業技術校（愛称：かなテクカレッジ西部）を開校する予定です。そして今回の会場、神奈川県立産業技術短期大学校は生産技術科、制御技術科、電子技術科、産業デザイン科、情報技術科があり、先進的産業を支える実践技術者の育成と、神奈川県内における職業能力開発の中核施設として産業発展への寄与を目的とした短期大学校です。また、職業能力開発総合大学校相模原キャンパス、関東職業能力開発促進センター、港湾職業能力開発短期大学校横浜校など多くの施設があります。

神奈川県の職業能力開発の取り組み <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f12456/>

カナガワ技術校ナビ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f368/>

かなテクカレッジ東部 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4406/>

かなテクカレッジ西部 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420109/>

神奈川県立産業技術短期大学校 <http://www.kanagawa-cit.ac.jp/>

職業能力開発総合大学校 <http://www.uitec.jeed.or.jp/>

関東職業能力開発促進センター <http://www3.jeed.or.jp/kanagawa/poly/>

港湾職業能力開発短期大学校横浜校 <http://www3.jeed.or.jp/kanagawa/college/>

2012 実践教育研究発表会神奈川大会に参加され、横浜・桜木町・関内周辺に宿泊される皆様、短い時間ではありますが、神奈川県、港横浜を満喫してください。

(群馬職業能力開発促進センター 有田浩之)

【2012 実践教育研究発表会 神奈川大会特集】

交通アクセス



神奈川県立産業技術短期大学校

〒241-0815 横浜市旭区中尾 2-4-1

<http://www.kanagawa-cit.ac.jp/>

相鉄線「二俣川」北口 (1 番ポール) から  
バス (運転免許試験場循環) 中尾町下車 1 分  
または二俣川駅から徒歩約 20 分

※神奈川大会最新情報は HP [http://www.jissen.or.jp/meeting/2012/2012kanagawa\\_top-1st.html](http://www.jissen.or.jp/meeting/2012/2012kanagawa_top-1st.html)

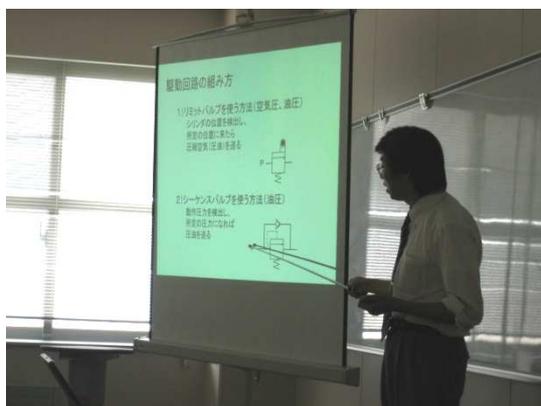
【実践研北海道支部活動報告】

## 実践研北海道支部 2012 年第 1 回発表会

8月10日(金)北海道職業能力開発大学校において、北海道支部の2012年第1回発表会が開催されました。発表者は、4月に東北能開大分会から来られた早川氏、平野氏を含め3名でありました。参加者は少なめではありましたが、各発表に対しじっくりと熱心な討論が交わされました。

発表者、発表テーマ

- ・早川 明德 氏 「機械保全教材の開発」
- ・平野 直樹 氏 「木造足元自由構造に関する研究」
- ・中田 英次 氏 「除雪作業ロボットシステムの開発 III」



発表会の様子 (その1)



発表会の様子 (その2)

(北海道職業能力開発大学校：中田 英次)

## 編集後記

今回は2012年夏号として、今年度開催される2012実践教育研究発表会 神奈川大会の特集を掲載致しました。特別講演や各系企画が盛りだくさんとなっております。このニュースをご覧になって興味がわいた方は、是非発表会まで足を運んで頂けたらと思います。

また、北海道支部より活動報告をいただきました。WEBニュース編集事務局では、皆様からの各地のポリテクビジョンや催し物に関する情報をお待ちしております。記事半ページ程度、写真2枚程度を添付していただき、以下のメールアドレスへ直接、もしくは編集事務局まで封書でお送りください。またこちらからも記事のお願いをすることもありますが、そのときにはご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

例年、この時期になりますと、異動した方もいると思います。勤務先、メールアドレスの変更は、分かり次第、実践教育訓練協会事務局までメールまたはFAXにてお知らせください。



---

発行責任者：大竹 勉  
発行：(社)実践教育訓練研究協会事務局  
〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-36-203  
TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652  
<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: [jissen@jissen.or.jp](mailto:jissen@jissen.or.jp)

---

編集責任者：御田村 真毅  
編集事務局：関東職業能力開発大学校  
〒323-0813 栃木県小山市横倉三竹 612-1  
TEL・FAX 0285-31-1748  
<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: [jissen@jissen.or.jp](mailto:jissen@jissen.or.jp)

---

広報委員会 Web Jissen News 編集部門：原圭吾・松葉孝治・御田村真毅  
広報委員会 Home Page 編集部門：水渡博幸・新島泰宏・有田浩之・永野秀浩  
広報委員会 委員長：有田浩之  
発行・編集：(社) 実践教育訓練研究協会 広報委員会  
JISSEN NEWS 2012 夏(No.176)

---